

# 図書館の本だな

～5・6年生 おすすめの本のリスト 2020～

## 銀のうでのオットー

ハワード＝パイル 作・画 渡辺 茂男 訳 童話館出版 933－パ

オットーは略奪や争いがくり返される暗黒時代の中世ドイツに、竜の館と呼ばれる城で生まれました。母を亡くしたオットーは僧院に預けられ、そこで静かで平和な生活を送っていました。ところが、十二才になろうとしていたある日、父であるコンラッド男爵がやってきて、オットーを竜の館に連れ帰ります。

## アンデルセンのおはなし

エドワード・アーディゾーニ 選・絵 江國 香織 訳 のら書店 949－ア

チューリップから生まれた女の子はおやゆび姫という名前をつけてもらいました。この子は人の親指の半分ほどの背丈しかなかったからです。ところがある夜、おやゆび姫がクルミの殻のゆりかごで眠っていると気味の悪いヒキガエルが飛びこんできて、おやゆび姫を抱えて行ってしまいます。この本には『おやゆび姫』ほか13のおはなしがはいっています。

## おばあちゃん

ペーター＝ヘルトリング 作 上田 真而子 訳 偕成社 943－へ

カレが五歳のとき、自動車事故で両親がなくなり、おとうさんのおかあさんである六十七歳のおばあちゃんにひきとられます。おばあちゃんのところでは、一日のすごしかたが、両親といっしょだった生活とは、まるでちがっていました。カレは、そんなおばあちゃんのやり方に納得できないこともありましたが、力をあわせて、なんとかやっけていこうとします。

## モモ

ミヒヤエル・エンデ 作 大島 かおり 訳 岩波書店 943－エ

モモは都会のはずれにある円形劇場の廃墟に住む女の子です。人の話を聞くという人で、ほかにはれいのないすばらしい才能をもって、みんなモモに話を聞いてもらいにやってきます。ところが、だんだんモモのところに友だちがなくなってしまう。時間どろぼうが、人びとのくらしのなかにしのびこんで、みんなが時間を節約しだしたのです。

# まぼろしの小さい犬

フィリパ・ピアス 作 猪熊 葉子 訳 岩波書店 933ーピ

ベンはおじいさんから誕生日に犬をあげようといわれ、とても楽しみにしていました。ところが、誕生日にとどいたのは、ししゅうされた犬の絵だったのです。ベンはとてもがっかりしますが、ロンドンの自分の家では犬が飼えないというのもわかっていました。

# 南極点 夢に挑みつづけた男 村山雅美

関屋 敏隆 文・型染版画 ポプラ社 Eーセ

地球で一番寒い南極大陸の一番南にある南極点。この南極点を踏破することに、たくさんの方が情熱を燃やしました。その一人が、村山雅美で、のちに「南極野郎・南極男」ともいわれました。村山は、観測副隊長西堀にさそわれて、第1次南極観測隊に参加、「南極点に立ちたい」という夢の第一歩をふみだします。

# 月白青船山

朽木 祥 作 岩波書店 913ーク

夏休み、お父さんの病気で、オーストラリア旅行に行けなくなった兵吾と主税の兄弟は、鎌倉の大叔父さんの家に預けられることになりました。ある日、二人は近所に住む静音という少女といっしょに切り通しに行き、すべて遊ぶうちに、星月谷という不思議な谷に迷い込みます。すると、そこであった老人が三人に奇妙なお告げの話をしてします。

# ミイラ学 エジプトのミイラ職人の秘密

タマラ・バウワー 著・絵 こどもくらぶ 訳・編 今人舎 242ーバ

ミイラづくりは神聖な仕事で、ミイラ職人は人々に尊敬されていました。死者の体を丁寧に扱い、永遠に保存する仕事をする彼らは王のお気に入りでした。ある日、ミイラ職人のところに使いの者がやってきて、王妃の父が亡くなったことを伝えます。ミイラ職人たちは、すべてを清潔にして待ちます。ミイラづくりは宗教的行事であると同時に、死者への愛と思いやりの行為なのです。

# モンゴル大草原800年

イチンノロブ・ガンバートル 文 バーサンスレン・ボロルマー 絵

津田 紀子 訳 福音館書店 Eーポ

いまから800年前、草原で馬やヒツジを飼っていたモンゴルの人びとは、王チンギス・ハンのもと、騎馬軍団としてたたかいました。やがて、領土をひろげていったモンゴルは世界でいちばん大きな国になります。その後、モンゴルはモンゴル人どうしでたたかいがつづき、やがて、となりの清国（中国）に支配されます。この本では、馬とともに生きてきたモンゴルの人びとの800年のさい月を知ることができます。

# ジュリアが糸をつむいだ日

リンダ・スー・パーク 作 ないとう ふみこ 訳 徳間書店 933ーパ

ジュリアは韓国系アメリカ人です。親友のパトリックと楽農クラブの自由研究で何をしようかと相談していると、母さんがカイコを育てたらどうか、といいます。母さんは韓国にいたときに、カイコの世話をしたことがあるのです。パトリックはこれをきいて、すっかりその気になりますが、ジュリアはカイコの自由研究なんてやりたくないと思います。